



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 7

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				杉並区自治基本条例PR用パンフレットの作成	10,000
		杉並区自治基本条例PR用パンフレットデザイン委託(女子美術大学)			32
		自治・分権に関する調査・研究			
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	平成21年12月に制定公布し、平成22年4月1日から施行となった改正自治基本条例の普及啓発のため、PR用パンフレットを作成し、区施設での閲覧・配布や、転入者への配布を実施しました。また、自治・分権の推進に関し、国の地域主権改革や、都区のあり方検討委員会などの都区制度改革の動向について、情報収集、調査・検討を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○平成15年5月の杉並区自治基本条例施行後、制定時の付帯決議やこの間の社会経済情勢の変化、条例の施行状況などを踏まえ、平成21年度に見直しを行いました。また、地域主権改革大綱(平成22年6月閣議決定)を受けた地域主権推進一括法案(第1次・第2次)による「義務付け・枠付けの見直し」「基礎自治体への権限移譲」等への対応が迫られています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	○自治基本条例について、引き続き積極的に周知を図るべきとの意見があります。
	今後の予測	○地方分権改革の進展に伴い、基礎自治体として特別区の役割は尚一層大きくなることが予想され、それに見合った税財源の確保は求められます。
	評価と課題	自治基本条例が施行され7年が経過し、区民等の意見提出手続き(パブリックコメント)や審議会等への区民参加などが定着し、条例制定による成果が見られています。今後も、平成22年度に発行したパンフレットを活用するなど普及啓発に努め、条例や各制度の認知度を高め、区民等の参画・協働をさらに推進していきます。また、国の地方分権改革や、都区制度改革の動向を注視し、特別区の自治権拡充に向け適切な対応を図っていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ○ 現状維持      ○ 縮 小      ● 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	自治・分権の推進については、今後も引き続き取り組むべき課題ではありますが、事業費を計上する予定がないため、予算事業としては平成22年度をもっていったん廃止となりました。		

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 35

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				区民意向調査委託料	1
		区政モニター(一般)謝礼	49	人	276
				部	
				人	
		その他 (建物管理委託ほか)			46,964
	(2) 事業実績	杉並区区民意向調査については、前年並みの調査票を回収することが出来ました(回収率89.4%)。一般区政モニター会議は、3回実施の予定でしたが、3月11日に震災が発生し、翌日のモニター会議を急遽中止としたため2回の実施となっています。意見・要望については、全体の件数は減少していますが、3月は震災に伴う意見や要望が多く寄せられました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="一部実現している"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text" value="企業・個人事業者((3)へ)"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text" value="委託 [業務量の50%未満に相当]"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="推進"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年10月から区公式ホームページからの意見・要望受付を開始し、同年1,441件だった意見要望は、最多が平成17年度で3,615件まで増加し、その後減少を続け、平成22年度は1,355件でした。そのうちホームページでの受付が5割を占めています。区民意向調査の対象者は当初の1,000人から1,400人とし、平成16年からは対象年齢を満20歳以上から満18歳以上に変更して実施しています。平成15年から自治基本条例に基づく区民意見提出手続が開始され、区政モニター調査を希望する所管課が減少しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	対話集会や区政モニター会議など会議形式の広聴事業は、区民行政双方に負担が大きいので見直した方がよとの意見、区民意向調査の回収方法(訪問回収)をプライバシーを考慮し、郵送等に変更すべきとの意見が寄せられています。
	今後の予測	対話集会や区政モニター会議などは、実施方法や回数の見直しが必要と考えられます。区民意向調査については、他の社会調査(指定統計調査等)での調査環境の悪化を見ると、調査対象の非協力件数が増加すると懸念されます。

評価と課題	区政に対してホームページを中心に多種多様な意見要望をいただき、三日ルールの下で迅速に行政の対応が行われています。また、新規の施策や計画、条例改正など主要な取り組みについて区民意見提出手続が活用されています。区民意向調査もバランスの取れた多くの対象者の参加をいただき、客観的な指標として活用されています。一方で、対話集会や区政モニター会議については、参加する区民からは、一定の評価をいただいているものの、実施の負担が大きく、客観的な指標としての活用が難しい現状です。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更		
	<p>区民意向調査は、区民意見提出手続(パブリックコメント)と合わせて区民意見を聴取する方法として効果的に活用できるので、今後とも実施していきたいと考えます。</p> <p>区政モニター会議については、実施方式を見直すなどし、アンケートについては一般・電子モニターとも同様の内容で行いサンプル数を確保するなど、実施上の負担は少なくかつ効率的に意見収集ができるような見直しを考えていきたいと考えます。</p> <p>対話集会については、これまで自治基本条例等のテーマを決め実施してきましたが、区政へ反映できる意見の聴取については、課題があります。存廃も含め、検討していきます。</p>					

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 65

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				ウェブサイト「すぎなみ学倶楽部」の運営等業務委託	
		運営委員謝礼			72
		その他 ( 需用費、通信運搬費、手数料 )			88
	(2) 事業実績	区民ライターの記事・執筆によるサイトの更新や、公募委員による電子メールを使用した番組評価など、「区民参加型」のウェブサイトとして「すぎなみ学倶楽部」を運営し、「杉並への好感度・愛着度」の向上を図りました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	インターネット利用者数 H19末 8811万人 H20末 9091万人 H21末 9408万人 H22末 9462万人 人口普及率 H19末 73.0% H20末 75.3% H21末 78.0% H22末 78.2% *総務省:通信利用動向調査による
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	すぎなみ学倶楽部運営委員から、「すぎなみ学倶楽部」は、オープンから5年余りが経過しており、世代前のウェブサイトになっている、サイト全体をリニューアルする時期になっているとの意見があります。
	今後の予測	事業開始時からの目標である「杉並への好意度・愛着度の向上」に加え、今後は地域経済の活性化を進めることも目標とし、区内の特徴ある産業・文化等の資源を再発見して発信することで来街者を増やすことが求められます。
	評価と課題	事業費を圧縮しながら、目標の100本を超える126本の番組を更新した一方、月平均の総ページビュー数は、目標6万回に対し3万9,076回にとどまりました。今後は、情報の鮮度を高めるとともに、これまでの文化的な側面に加えて、地域経済の活性化等の観点から、より「役に立つ」情報の発信を展開するなど、新たな視点からの再構築が課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	事業開始時からの目標である「杉並への好意度・愛着度の向上」に加え、今後は地域経済の活性化を進めることも目標とし、区内の特徴ある産業・文化等の資源を再発見して発信することで来街者を増やすことが求められるなど、事業の効果や必要性が高まっています。 一方、事業開始から5年余りが経過し、月平均の総ページビュー数が大きく落ち込んでおり、サイト全体のリニューアルが課題になっています。		

特記事項	
------	--